

タイにおける少女マンガ年齢指定の混乱  
— 性描写を含む少女マンガをめぐる言説の歪み —

TOJIRAKARN Mashima  
(京都大学大学院文学研究科博士後期課程)

2012年2月



京都大学グローバル COE  
「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」  
Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

---

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科  
Email: [intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp](mailto:intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp) URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

## アブストラクト

本稿はタイムメディアで提示された少女マンガの評価や出版社による自己規制の在り方に着目し、タイの公共的空間において「日本少女マンガ＝過激な性表現」というイメージがどのような構造で発信されてきたかを分析する。

ベッドシーンを含む作品がタイで人気になった90年代初頭にポルノを連想させる形で少女マンガが批判的に報道された。こうしたイメージは、マンガ評論家による少女マンガ批判によって拡張されていく。批判の根拠として「作品内の未成年のセックス」および、「未成年がそれを読む」ということが挙げられるが、その懸念に基づいた少女マンガ出版社による年齢指定が一貫性に欠いたために、規制が「日本少女マンガ＝過激な性表現」の根拠として機能してしまう。

キーワード 少女マンガ、タイ、表現規制

2010年度次世代研究「タイにおける少女マンガ年齢指定の混乱 ―性描写を含む少女マンガをめぐる言説の歪み―」（研究代表：TOJIRAKARN Mashima）による成果である。

【メンバー】（ ）内は2010年度プロジェクト時点

TOJIRAKARN Mashima （京都大学大学院文学研究科博士後期課程）